

第 675 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「雪国でそんなバナナ！」

放送日時

2022 年 2 月 26 日 (土)

15：00～15：30 放送

令和 4 年 3 月 24 日

BSn新潟放送

第 675 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 4 年 3 月 24 日 (木) 午前 11:00~

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長 古賀 豊
委員 大橋 未来子
委員 三井田 由香

委員 馬場 幸夫
委員 広川 和義

○審議番組事前レポート提出者

副委員長 佐藤 元
委員 石坂 智恵美

委員 渡邊 信子

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫 専務取締役 島田 好久
メディア本部長 五十嵐 幹史 情報センター長 小湊 潤

<説明員> 情報センター報道部 斎藤 あずさ

事務局 金山 英功 (編成局テレビ編成部部長)

4. 議題

1 報告事項 令和 4 年 4 月の番組について (各担当)

2 審議事項 テレビ番組

「雪国でそんなバナナ！」

(放送日時: 2022 年 2 月 26 日 (土) 15:00~15:30 放送)

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各担当からの 4 月度番組報告に続いて、
テレビ番組「雪国でそんなバナナ！」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○「越後バナーナ」の苗を植えたところから成長過程がしっかり押さえられていたので、

初収穫の時の緊張感がよく伝わってきた。

○今の時代に即したサステイナブルな商品であり、企業としてこれから目指していくべき姿を見せられた。社会に役立つ仕事とは何か、を考えさせられた。

○SDGsの後押しとなる番組を今後も期待する。

○番組タイトルから意外性・話題性だけを紹介する番組だと思ったが、地域の小学生に環境問題を考えさせるきっかけを提供するなど、非常に充実した内容だった。

○このバナナ事業がSDGs関連の有意義な活動であるとともに、スタッフの皆さん的情熱で何とか採算ベースに乗せてほしい。

○首都圏への販売戦略があれば知りたい。

○バナナそのものにもう少し触れてほしかった。何故皮ごと食べられるのか？1本1620円の理由は？香りは？甘さは？

○随所にバナナカラーが使われ、また常に右上にサブタイトルが表示され4つの構成がわかりやすく内容を的確に伝える工夫がなされていた。サーマルリサイクルの説明も図を使用するなど、わかりやすかった。

○規格外品のバナナはどうしているのか？廃棄しない取り組みをしていると思うが。

○首都圏への販路拡大を考えているようだが、まずは新潟県民に知ってもらおうと考えているのかどうか。

～新潟放送 情報センター報道部 斎藤あづさより～

お忙しいところ、番組を丁寧にご審議頂きありがとうございました。新潟初のバナナ栽培に関わる生産者の皆様の奮闘と地域で広がるSDGsの取り組みについて伝わったようでうれしく思います。「越後バナーナ」としては今後の首都圏での販売戦略を含め、まだまだスタートラインに立ったばかりだと思いますので、今後も引き続き取材を続けていきたいと思っております。

また、貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。バナナの価格や特徴についてもっと知りたかったというご意見を頂き、ご視聴いただく方の視点に立ったより丁寧な構成と説明が必要だと感じました。今後の取材・構成・原稿に生かして、記者としてさらに励んでいきたいと思います。

【文責・番組審議会事務局】